

▶今号の内容◀

- 「共産主義者の統一協議会」結成
めざし共同の準備開始しよう
共産同中央委員会…2~3面
- 《インタビュー》長船社研
の闇に学ぶ(Ⅱ)…6~9面
- 連赤死刑判決に対する態度
高原浩之…10面

1982年
7月10日
第18号
(通巻65号)
10頁 300円

赫旗

共産主義者同盟中央機関紙

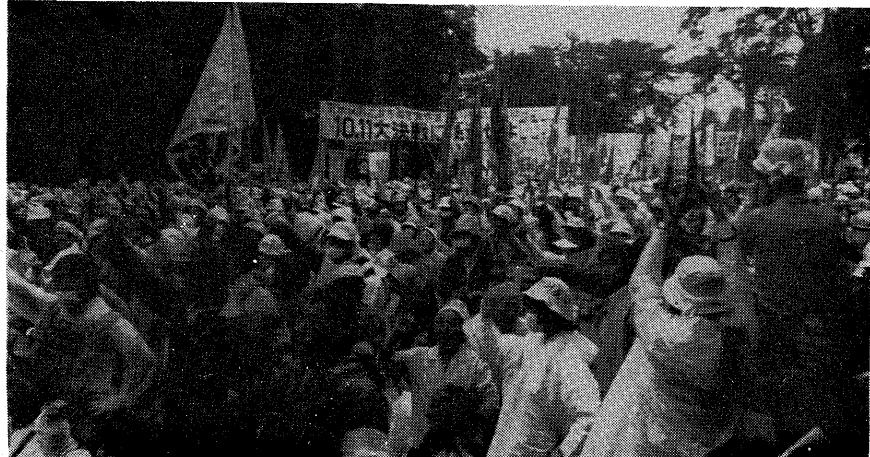
発行所 赤路社

編集・発行人 北沢 晋
東京都大田区大森北1-13-11
電話 03(766)4729
郵便振替 東京7-86947

関西赤路社 大阪市福島区大門
1-19-13副島ビル
電話 06(462)7030

毎月10日、25日発行
1980年2月28日
第3種郵便物認可
定期購読料
1部・22回
手渡し - 3000円
開封郵送 - 3500円
密封郵送 - 4000円

全国の工場・地域から

全民労協の結成を許すな
左派の共同した反撃を！

7・4三里塚現地闘争には9400人の労働者人民が結集した

帝国主義の相対的安定期が終り、金世界規模で帝国主義の危機が深まり、戦争と革命の情勢が到來している。日本帝国主義は、米帝の指揮の下、安保体制再編と改憲攻撃を柱に、対ソ帝世界大戦、朝鮮侵略反革命戦争準備と政治争議団をはじめ、連帯と兵闘を強めた八五年体制にむけ、一挙に各戦線から百八十名が参戦する正規の攻防軍実践的布陣が打固められた。

「共産主義者の統一協議会」結成 めざし共同の準備開始しよう

わが同盟への問い合わせに対する見解

共産主義者同盟中央委員会

① 見解を表明するにあたつて

去る一月、わが同盟が機関紙「赫旗」紙上を通じ、全国の共産主義者による協議会の結成を訴えて以来、早や半年が経過しています。この間の様々な反応と疑問については、同じく「赫旗」紙を通じて答えてきたところです。わが同盟は今日、この共産主義者の統一協議会への賛同や支持や共感が一般的な雰囲気で流れないので、是非とも「共同の準備」のための具体的な作業に形あるものとなることを願っています。

折りから、わが同盟が共同の準備を呼びかけた諸派のうちのいくつかの部分が、先行した具体的な提案と見解を出されました。また多くの方々から「赫旗」の統一協議会の政治規準・運営方法についての具体的な問題意識が聞かたいという意見が寄せられています。

「統一協議会」に関する具体的な見解は、労働者党全国委員会の「われわれの提案における政治規準の提起、共労党全国委員会の「共産主義者の統一事業」への方法上の若干のニュアンスのちがいがいぜんあるものの、この歴史的事業の確かな可能性をしめしています。

とりわけ、戦旗・共産同の「赫旗」の見解は、その虚心たんない率直さにおいて、今後の統合に向けた党派関係の新しい作風を立ちてるとして、誠にさわやかな一つの典型をしめしているとわれわれは受けとめるものです。彼らはこういつています。

「われわれ戦旗・共産同は」の呼びかけの基本精神に対し、同調する。実践的に幾多の共産主義者の分派の統合が可能であり、それをうじ、日本階級闘争が前進し、ひいてはレーニン主義的な革命的労働者党建設の道が切り拓かれいくならばこれは画期的なことであり、おおいに尽力すべきものであると思う。われわれは今後、この試みの成功のために、およばずながら努力してゆきたい。しかしわれわれ戦旗・共産同は六十年代以来レーニン主義的な單一党建設をかかるなかで、七十年代前半の分裂の経験は有しているものの、未だかつて他の共産主義分派との実践

的統合を実現したといふような歴史性を全くもつていてない。ゆえにこうした呼びかけに対しては、一定感覚がある程度、展望を見い出しえるものも客観的事実である。この文書は実際に卒直に、この不安と遙が、かつまた後に具体的に答えることに対するわれわれに対する同意的批判がのべられています。

わが同盟はわが同盟へのしんらつな批判を含むといえども、こうした卒直な意見が、悪意でなく、团结を願う立場から出ているがゆえに、誠実に受けとめています。

さてわれわれは、先にもあげた様々なすでに「共同の準備」の予備的・前提的討議ともいえる見解が提出され

② 統一協議会の規準について

①-1 まず目的の一一致を

下の思想的・政治的規準について

ただちの論戦を組織するつもりは毛頭ありません。なぜなら、それらは準備会の過程で、共同してその運営原則をつくり出し、かかるペルルールにもとづいて積極的に行なわれるべき事務は、日本の共産主義者のいまだ根深いセクト主義によつてそこなわれるのは、火を見るよりは明らかと考えるからです。

こうした新しい事態の展開をふまえて、「統一協議会」に

関するわが同盟の政治基準・運営に関する見解と、特殊「赫旗」への問い合わせ・批判に答えて、以下の態度を鮮明にするものです。

同志的批判と検討をお願いしたいと考えます。

まずは最初に重要な問題は、「統一協議会」が何をめざすのかで一致することであると考えます。

われわれは周知の如く「統一協議会」の性格を、共産主義者の統合と團結を實現し、社共に代る革命的労働者覚悟をしめしているとわれわれは受けとめるものです。彼

らはこういつています。

「われわれ戦旗・共産同は」の呼びかけの基本精神に対し、同調する。実践的に幾多の共産主義者の分派の統合が可能であり、それをうじ、日本階級闘争が前進し、ひいてはレーニン主義的な革命的労働者党建設の道が切り拓かれいくならばこれは画期的なことであり、おおいに尽力すべきものであると思う。われわれは今後、この試みの成功のために、およばずながら努力してゆきたい。しかしわれわれ戦旗・共産同は六十年代以来レーニン主義的な單一党建設をかかるなかで、七十年代前半の分裂の経験は有しているものの、未だかつて他の共産主義分派との実践

で最後的に、新左翼の急進民主主義の社共の政策反対

大蔵の真正面からの激突とブルジョア国家権力をめぐる大戦争が不可避免に迫っている時代の中で、ふたたび、そし

て最後的に、新左翼の急進民主主義の社共の政策反対

大蔵の真正面からの激突とブルジョア国家権力をめぐる大戦争

(2) 面下段からつづく)

展を共同作業としておしすすめる立場を明確にする。

④ 日本労働者階級・人民の当面する主要な敵である日本帝国主義を打倒する立場。かつて出来たいのブルジョア国家権力を利用するのでなく、これを粉碎して、自らの国家権力一派を立てること。

わが国の労働者階級は、世界プロレタリアートの一部として、世界プロレタリアートの共通の終局目標達成するために、全世界のプロレタリアート・被抑圧民族と团结せねばならぬ。ここで、コスマボリタン的境界革命主義やその裏返しの「国主義」を共に排して、世界革命の有機的一構成部分として日本革命を展望する。この際に、日本帝国主義の歴史的現実からして「他民族を抑圧する民族に由はりえない」の原則を実践し、第三世界人民、とりわけアジア・朝鮮人民との国際連帯を闘い取る立場を貫かねばならない。

わが国の労働者階級は、世界プロレタリアートの一部として、世界プロレタリアートの共通の終局目標達成するために、全世界のプロレタリアート・被抑圧民族と团结せねばならぬ。ここに、コスマボリタン的境界革命主義やその裏返しの「国主義」を共に排して、世界革命の有機的一構成部分として日本革命を展望する。この際に、日本帝

国主義の歴史的現実からして「他民族を抑圧する民族に由はりえない」の原則を実践し、第三世界人民、とりわけアジア・朝鮮人民との国際連帯を闘い取る立場を貫かねばならない。

わが国の労働者階級は、世界プロレタリアートの一部として、世界プロレタリアートの共通の終局目標達成するために、全世界のプロレタリアート・被抑圧民族と团结せねばならぬ。ここに、コスマボリタン的境界革命主義やその裏返しの「国主義」を共に排して、世界革命の有機的一構成部分として日本革命を展望する。この際に、日本帝

国主義の歴史的現実からして「他民族を抑圧する民族に由はりえない」の原則を実践し、第三世界人民、とりわけアジア・朝鮮人民との国際連帯を闘い取る立場を貫かねばならない。

わが同盟は、社共に代わる革命的労働者創建の志をもつすべての共産主義分派・労働者グループ・個人と表明しています。

これについてある党派の方々から「労働者グループ・個人を構成するのはまちがつてない。彼らは党オルグの対象であって、統合する対象ではない」という趣旨の批判をいただきました。われわれはこの意見に賛同しません。

理由は「一月提案」のべていますのでくりかえさず、個人を構成するのはまちがつてない。彼らは党オルグの対象であって、統合する対象ではない」という趣旨の批判をいただきました。われわれはこの意見に賛同しません。

統一協議会を形成するには、おのずとその運営についてのいくつかのとりきめが必要と思われる。それについて最低、次の二点が確認されなければならないと考えます。

① 一定の共同行動の中で相互信頼を培い、闘争の中で團結する。

当面、何を共同闘争とするのは労働者の中「十分討議されべきである。現下の労戦統一に反対する闘い」「労組連問題を含む」を基礎に、安保・日韓・三里塚などを中心とする八十年代階級闘争の前進と共に闘い取る姿勢が大切である。もちろん互いの歴史的経緯や現状の取り組みの強弱に十分配慮がなされることが必要と思われる。

② 意見の対立は、暴力的形態で解決せず、團結の願いから出発した同志的な相互批判にもとづき、革命陣内部

の矛盾として解決・止揚する。

われわれの陣営の内部のサークル主義・セクト主義をいかに克服し、新しい論争と團結のルール・作風をつくり出します。

しかしそれは、統一協議会そのものの中で提出し、検討すべきであって、そのテーマ・問題意識によって「協議会」の枠を狭めたり、強制したりすることはまちがいであると考えています。

と同時に、この「からまでの規準そのものも、わが同盟の見解であって、準備会の中での他の諸見解とつきあわせ、討議に付されるべきであると考えています。

② 対象について

わが同盟は、社共に代わる革命的労働者創建の志をもつすべての共産主義分派・労働者グループ・個人と表明しています。

これについてある党派の方々から「労働者グループ・個人を構成するのはまちがつてない。彼らは党オルグの対象であって、統合する対象ではない」という趣旨の批判をいただきました。われわれはこの意見に賛同しません。

理由は「一月提案」のべていますのでくりかえさず、個人を構成するのはまちがつてない。彼らは党オルグの対象であって、統合する対象ではない」という趣旨の批判をいただきました。われわれはこの意見に賛同しません。

③ いくつかの批判に答える

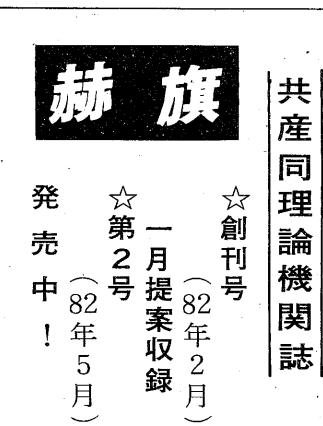
こうした諸見解を明らかにして上で、次には、わが同盟

の名指しの問い合わせ批判や、様々な御意見に是非とも答えることにして。(それ故に、「一」と以下の文を相

対的に区別して、かつまた、すでに前段まで答えたことと異なる点については闇連させてどうぞいたただいた)

わが同盟は、社共に代わる革命的労働者創建の志をもつすべての共産主義分派・労働者グループ・個人と表明しています。

社共にかかる革命的



深い感覚があります。それ故、われわれは革命の大儀ゆえに、団結は力であり大儀だと確信しているのです。

② 第二は、「何よりも赫旗の闘う力の表現が欲しく……少なくとも、第二次ブンドに匹敵するだけの実践的戦闘性を有し、發揮することを願っている」という批判である。われわれはまず、日本階級闘争を左から牽引する衆出し部隊として、わが同盟にいざん多くの弱点があることを自ら深く認識するものです。戦旗・共産同の諸君の同志的批判を直に受けたいと思う。

しかしながら、次のことだけは強調しておきたい。すなわち、第二次ブンドの継続をもって、わが同盟は当面する日本社会主義革命を、労働者階級の自己解放の事業であり、これらが全人民をひきいて口帝打倒・米帝掃除・プロ独樹立へすむ革命と考えています。が故にわれわれは、自らの宣伝・煽動・組織活動を工場・地域に根を下し、これを革命の砦することに重きをおいています。わが同盟は、戦争と革命の八十年代情勢のこの重要な局面で、工場・地域を基礎とした労働運動を主戦場にこれら労働者階級が全人民的政治闘争を領導し、数十万・百万単位の革命的大衆行動の準備が問われていると考えています。それを、第一次ブンドのやり方ではなく、また戦闘的隊列ではなく、プロレタリア政治を体現する部隊の形成に力を入れ、この成果の登場でもって、われわれは諸君の批判への答えとするであろう。君達は言う。「日本農民が前衛党に求めている力を備えた具体的勢力へとわれわれと共に自らを高め上げていこうではないか」と。

君達は言う。「日本農民が前衛党に求めている力を備えた具体的勢力へとわれわれと共に自らを高め上げていこうではないか」と。

これまでの数回の統合の教訓は、單なる連合ではなく、綱領上のそれではなく、綱領上のプロレタリア共産主義革命をめざす思想的統一に求めることを教えています。だからこそ、われわれは「統合」をわれわれの総括の表現であり、たとえさざやかであっても七十年代の日本階級闘争の前進の一つの成果であり、日本共産主義運動の現在の分散に終止符をさすその出発点であると誇りをもつていています。

これまでの数回の統合の教訓は

総辭の再生 左派連合に

〔全民学園〕発足に示される劣戦の右翼的統一、総評解体攻撃の進行に対する反撃の一環として、左派連合の闘いが開始されている。六月二十四日、東京・千七田公会館で開かれた「全国オルグ・左派結集を強めよう」という改組主張を行なった。

会堂において総評二回開催され、組織的対応、組織体系をつくる
による「労働戦線の右翼的再編」に必要を述べた。そして「総評労働
反対し、たなかる総評の再生をめざす大集会」が千二百名を召集し
て開催された。これは、六月十四日東京での活動家集会をひき継
いだものであり、また、総評定期大会を前にした全国各プロック集
会の最初となるものである。

集会は十一、廿半七日開催され、東日本からも多くの代表者が出席
した。これで、総評の崩壊が明確化され、その原因は、組織的対応、
組織体系をつくるによる「労働戦線の右翼的再編」に必要を述べた。
そこで、総評労働反対し、たなかる総評の再生をめざす大集会が
開催され、六月十四日東京での活動家集会をひき継いだものであり、
また、総評定期大会を前にした全国各プロック集会が開催された。
これが、最初となるものである。

東京市川・岩井口の問題挙げ
壊角化といふ危機的状況を前に
全港湾、全国一般統一労組懇な
どからの発言で構成された。市川、左派結集として、「総評の再生」を軸にした「
岩井氏は問題提起として、労働組
つたことを示していると言える。

今回の二顧問による「左派連合」これまでの事実経過の承認、②競
提携は、一方で絵説崩壊のガケ渊合衆産の取り扱いには、統一のた

にあって、他方で「基本構想」にも
とゞく労戦の再編が、労働戦線の
めの条件づくりに努力する、であ
る。これは同盟系との競合争奪
は同盟系への及び、合併を条件と
するに三義団の手をもつて、戦争をひきこらへる。

日本主義的軍事統治の遺産であつて、その間の日本人の口から何をかかへたことが広範な労働者に暴露され、していることを示してゐる。そして労働組合内部の危機感を生みだし、て 参加申込書につけた「[基本構想]に対する総評の『五項目補強案』の堅持」や、すべての労組への解説の堅持など、門戸開放などの文書の削除である。

階級的労働組合運動創出へ向けた共同の布陣を！

「闘う労組連」へ向けて

隊伍を整えよ

派との「連合」の条件のある労働組合も解体していくなかで、今後日立、丸紅、三井、大日本製糖、三井物産は、こう

産主義的無党派活動家集団ら戦闘
わけ反_（全民労協_）の活動において

闘、プロソクのイニシアチブをととして可能であると思える。

「協」の年内発足に際し、これと攻

われわれ自身、柔軟でかつ屈伸性 軸にした「資本主義に反対してた
い、」（吉川一三）を、行 くこと、そり

の統一戦線である、労働者統一戦
めでいかねばならない。

ば、昨秋われわれはすでに、敵の題となりつつある。

立憲の精神。それわれの基の革命
からして、社会党左派との対応と
急展開する情勢とそこでの労働

同様、日共一派は「労組をいぢりて、総選舉にはわれわれに有利な問題をつくりつけている。そこでは――」も「社民主要打撃論」的対応の誤ま

りに反攻し、右翼的労組の定説は金體にさしかわらない。われわれは、今こそ自らの飛躍の正

文・基木精悉反文・統一準備会反対場であることを見すえ
半導者
対」のもとでの、一定の条件下での 階級の利益を第一にし、大胆にか

部分的の考慮の必要を認めた。今日一柔軟で専門性のある注釈は、これらは金をはじめ大衆的にもてである必要がある。

行われかかる中で一定の役割の
有効性が実践の中で実証されてい
が予定されている。総評をブルジ
七月二十五日 総評の定期大会

る。今日的この見解を變更する
アシㇼとその手先どもに売り渡
必要はないと思える。
し、最後のとどめをきさんとして

ヨナルセンターづくりは、労働者も下部大衆の怒りと不信は例年

を帝国主義どその手先どもの右翼にななく大きく広がつてゐる。これ的労戦統一に反対するボーズでは、総評、各単産の人事問題とし

まし、その実はフルシミア議会にて噴出し始めている。われわれもでの右と「左」の争い、すなわち小またこの闘いを支持し、「総評の闘

ブル的地位の安定に労働者の闘い——再生——「闘う労組連」による

融独占資本の命運を助けるもので、労働者の闘いにこたえていか

ある。だが、金融独占資本と労働ねばならない。

独占資本の分裂攻撃と



会にレーニン全集をもちこんで、レーニンがいたとかってないとか(笑い)。選挙があればます労働者階級についてかとか。候補者をもつて指導にきていたりだして、親組合の執行委員会が、あきれてて、執行委員会で青婦協の予算を削れなんていいだしたり(笑い)。

西村 黒田寛一の過渡期社会の官僚制疎外型龍論もビンとこす、おかげでエラく毒づかれたつけ(笑い)。

久保田 いや、本当に真剣でした。問題として、ということは大衆運動の問題としてやつてきたことは、社研活動と選挙とは笑い、革命的議会主義とは何かとか。候補者をもつて指導にきていたりだして、親組合の執行委員会が、あきれてて、執行委員会で青婦協の予算を削れなんていいだしたり(笑い)。

久保田 いいだしたたり(笑い)。

西村 長崎社研の九割が中卒、養成工卒という事実は、意外に知られませんね。

久保田 本当に真剣でした。

生田 ブンドでも、今の問題に組織的に綱領論議を始めたのは、七十年前です。反スタで、早く日共から誤別し、ソ連は社会主義でないといつたんだ

久保田 でも、ソ連規定についてはトロツキーの「労働者國家論」にずっと依拠して六十年頃、そんな論争をしていましたれば、小党派をすでにごえているんじゃないですか(笑い)。今やっと労派間の綱領問題の論争に、それがなつてるんですよ。

西村 当然そうでしょうね。

久保田 私達は現在では、今日のソ連は官僚ブルジョア階級が支配する官僚制国家資本主義の社会であって、「先の社会主義、実際の帝国主義」と考えています。

生田 連絡論議は、社会主義と結びつく大きな問題ですが、それを長船

久保田 六十年から六一年。

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすことを決めた

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

久保田 大会で修正動議としてだすこと

西村 うんく。そのエピソードも話しこんなどらないね(笑い)。

久保田 勉強をやり直す中で改めて「賃

金制度の廃止」を再確認する訳ですよ。

西村 この思想をどう広めるかという訳で、僕

が派遣全国大会の代表に選ばれました。

